

わかること・楽しいこと

～知的特別支援学校ではじめての仮説実験授業

いとう まもる mamoru.itou@nifty.com

昨年の9月から、知的特別支援学校の高等部機能開発科という所で、理科の時間講師をしています。1クラス10名、1年生2クラス・2年生2クラス、それぞれ週1単位。計40名、週4時間です。「仮説実験授業が出来るのなら」ということでお引き受けさせて頂きました。

理科室がない、薬品庫がない。でも、大型テレビ・ネットに接続したパソコンは使えるという条件だったので、授業書などは大型テレビに映し出し（知的特別支援学校に通っている生徒さんは、視覚優位の方が多い。「もしも原子が見えたなら」「ゴミと環境」は、仮説社から発売されているデータを、「タネと発芽」は埼玉の小林さんから、「吹き矢の力学」「落下運動」は栃木の湯沢さんから送って頂いたデータを活用させて頂きました）、実際にできない実験などはネット上の実験データなどを活用、単元が終わるごとに、マッキーノを活用して定着を図るようにしてきました。

先日、1学期が終わったので、生徒さんたちに最後の授業で5段階評価をしてもらいました。

● 一年生

植物について（タネと発芽・花と実）

楽しかったか 4.2

わかったか 3.7

物質とその分類（もしも原子が見えたなら・原子とその分類）

楽しかったか 4.2

わかったか 3.4

物質の変化と運動（吹き矢の力学・落下運動）

楽しかったか 4.5

わかったか 4.4

平均

楽しかったか 4.3

わかったか 3.8

マッキーノ 17問中、正解の数 11.4（67%）

● 二年生

動物について (背骨のある動物たち・食べ物とウンコ・ゴミと環境)

楽しかったか 4.0

わかったか 3.7

身近な機器 (電子レンジと電磁波)

楽しかったか 3.4

わかったか 3.3

物質の性質 (酸とアルカリ)

楽しかったか 3.4

わかったか 3.1

平均

楽しかったか 3.6

わかったか 3.4

マッキーノ 14問中, 正解の数 9.8 (70%)

国谷 裕子 著『キャスターという仕事』岩波新書の中に、以下のような記述があります。

<https://www.iwanami.co.jp/book/b279043.html>

・・・メッセージがシンプルな番組のほうが視聴率を取りやすい、などと言われる傾向があるなかで、「わかりやすく」することでかえって、事実や事実の、深さ、複雑さ、多面性、つまり事実の豊かさを、そぎ落としてしまう危険性があるのだ。とりわけ報道番組では、このことは致命的な危うさになる。・・・物事を「わかりやすく」して伝えるだけでなく、一見「わかりやすい」ことの裏側にある難しさ、課題の大きさを明らかにして視聴者に提示すること。それこそが<クローズアップ現代>の役割なのではないかと考えた。(第1章 ハルバースタムの警告「テレビ報道、三つの危うさ」より)

40名の生徒さんのうち、楽しさもわかり度も1をつけてくれた生徒さんもいましたが、(^; 総じて、「楽しかったか」 > 「わかったか」と評価してくれたので、ちょっぴりうれしかったです。(^^)

ところで、先日、久しぶりに奥さんとコンサートに出かけました。NHKホールの三階席・・・遠かったということもあり、静かなよく知っている曲は、歌っている内容もよく聞き取れたのですが、元気な？リズム感の強い曲は・・・歌詞もよく聞き取れず??? でもまあ、それなりに楽しめたので、よかった?? (^ゞ

ちなみに、「コンサート 情報保障 字幕」で、ぐぐったら・・・トップに、こんな記事が・・・「V6 コンサートの情報保障 (手話通訳・日本語字幕) について」

コンサートなどでの字幕保障は、一般的ではないようですね。

2017.7.30